

# 会 報

次代を築くヒューマンネットワーク  
一般社団法人兵庫県建築会

＜第380号＞



発行日：平成29年 6月 1日

目次	◎ 平成29年度定時総会開催報告	・・・	1頁
	◎ 会員レポート 鉄道秘話『ひょうごのナニコレ珍百景』① (株)岡工務店 専務取締役 岡 澄彦氏	・・・	2～4頁
	◎ 見学レポート 『兵庫県庁と兵庫津界限』(その2) 事務局	・・・	4～7頁
	◎ 花だより (1)『桔梗』兵庫県まちづくり旺美会 志波 秀明氏 (2)『アジサイ、ヒスイカズラ』洲本市 武本 浩己氏	・・・	7～8頁
	◎ お知らせ	・・・	8～9頁
	◎ 広報コーナー 『ひょうご出会いサポートセンターをご活用ください!』 『兵庫県住宅再建共済制度』	・・・	10頁 11頁
	◎ 特集 『平成29年度定時総会・会員交流会開催報告』	・・・	別冊

## 平成29年度定時総会・会員交流会 開催報告

平成29年5月23日(火)  
神戸三宮東急REIホテル

平成29年度定時総会・会員交流会が107名(総会は64名)の出席により盛大に開催されました。その概要は次のとおりで、詳細は別冊により報告します。

＜定時総会＞ 17時～18時

### ○ 開会挨拶・祝辞(要旨は別冊)

総会には井戸敏三兵庫県知事にご臨席いただき、冒頭に会長から挨拶と来る知事選挙への推薦を述べ、知事から祝辞と推薦のお礼をいただきました。

その後、事務局より議決権会員出席数44名、委任状7名合計51名で定足数を満たし、総会成立の報告があり、会長を議長として、議案審議を行いました。提出議案は次のとおりで、順次審議のうえ全議案について承認がされました。



### ○ 議事事項

報告事項1 平成29年度事業計画について  
報告事項2 平成29年度収支予算について  
報告事項3 平成28年度事業報告について  
第1号議案 平成28年度決算(案)について  
第2号議案 平成29年度役員を選任(案)について

### ○ 役員を選任について

会員組織における異動等に伴い次のとおり役員を選任が承認されました。(敬称略)

顧問 所属：兵庫県まちづくり部長  
(新)水埜 浩 (旧)小南 正雄

顧問 所属：(公財)兵庫県住宅建築総合センター理事長  
(新)宗野 義潔 (旧)小林 利裕

理事 (新)小南 正雄 (旧)大町 勝  
所属：兵庫県住宅供給公社

監事 (新)山田 聖一 (旧)石田 恭一  
所属：(一社)兵庫県建設業協会

幹事 吉川 壽一  
所属：(株)吉川組

※ 役員一覧表は別冊に掲載

### ＜会員交流会＞ 18時10分～20時

交流会に先立ち、柄谷順一郎氏の叙勲受章及び吉川壽一氏、石原憲一郎氏の兵庫県功労者表彰を祝し、続いて来賓の兵庫県副知事・荒木一聡氏、神戸市建築技術部長・井垣昭人氏による祝辞の後、神戸芸術工科大学名誉教授・坂本勝比古氏のご発声による乾杯で交流会が行われました。

## 鉄道秘話「ひょうごのナニコレ珍百景」

(株)岡工務店

専務取締役 岡 澄彦氏

今月より始まりましたこのシリーズは、私達の身近な「兵庫県」に生まれながらその本来の使命を全うすることなく、歴史に翻弄される形で泡沫のごとく消えて行った鉄路の名優（迷優）達を紹介する回顧録です。

鉄という字は、「金へんに失う」と表す。鉄でなくても何の道楽でも、程度の差はあるが、それを承知でやっている。だが、いくら鉄でも事業となれば、そうはいかない。今回はそうした話で閑話休題。

小生が小4の社会科の教科書副本が「兵庫県」であったが、その中の「兵庫県の交通」という括りで姫路駅北の画像に釘付けになった。紛れもない、市営モノレール駅である。それが姫路市にとって失敗作であるということは幼少の頃、親から聞いて知っていた。初めて姫路城に行った時に車窓から見える、古代ローマの水道橋のような佇まい（当時は休止中であったが既に廃線の雰囲気か漂っていた）に唾然となったものだ。珍妙に見ている級友らに、どや顔で「あれはモノレールの軌道や。」と講釈を垂れれば「嘘つけ」。淡路島に鉄道があった話でもしようかと思っただが、信用する者は誰もいなかったの引込め。

確かにこのような城下町にモノレールがあったこと自体想像に難しかったのだろう。運行されていたのは僅か8年だったのだから。



手柄山駅を発車する在りし日の姫路市営モノレール

ご承知の通り姫路市営モノレールは1966年の姫路大博覧会で手柄山メイン会場～姫路駅の輸送手段として14億5千万円を投じて建設されたものだが、本来の目的はそうした遊具の延長ではなく、

押し寄せるモータリゼーション（市内中心部から広畑の工業地域に市バスで1時間もかかっていた）に対抗する第三の都市交通として先進性を誇ったものであった。さらに当時のパワフルな世相を反映し、南は広畑・北は鳥取まで延伸するという壮大な構想があったというから、姫路が中国地方の中核になろうという息吹きを感じられる。

当時の物価で14億5千万円という建設費は姫路市によれば、地下鉄の五分之一、高架鉄道の三分の一であって先行投資の低廉さ（ほかに比べて）を特徴としていたようである。

「あすの日本の夢」を合言葉に130万人来訪で地方都市としては成功裏に終えた博覧会。しかし、それ以降は利用者にとって何の価値もなくなってしまう。手柄山駐車場をベースにパークアンドライド方式をとる先進的な構想も、既に当時あったようだが。

営業区間というのも手柄山から姫路（仮）駅までだから、距離にして1800m。乗れば正味4分前後の快適移動だが本数が少なく、歩いた方がまだ。

そもそも当時100円の運賃（開業当時の中型タクシー初乗りとほぼ同額）も、並走する山電が20円（1966年時点）だったので話にならない。

時刻	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
姫路		20	10	10	10	10	10	10	10	10				
行		36	30	30	30	30	30	30	30	30				
		51	50	50	50	50	50	50	50	50				

手柄山駅の当時の時刻表

アルウェーグ跨座式がわが国のモノレールの主流であるのに対し、姫路のそれは希少なロッキード式を採用し（国内では姫路市営と小田急でしか採用実績がない。早期廃止。）160km高速走行を謳い文句に試験線というべき上記区間にはそれらしく大袈裟なアップダウン（山電オーバークロス区間で60%の勾配）や急カーブ（80m）が設けられ、高速コーナリングを見せ場としていた。

ということは、特殊な構造ゆえに維持費が高いか、さらに悪いことにロッキード社のモノレール事業撤退が追い討ちをかけ部品調達困難と、ネガティブな面ばかりが際立ってくる。

毎年1億円の資金が姫路市の一般会計から投入され姫路仮設駅から延伸しようにも、国からの補助金もなく累積赤字が膨らみ（1979年正式廃止時点で10億7200万円）、洒落ではないが「モノ」にならなかったモノレールだった。この背景には建

説推進派市長の進退問題など政治的背景にあるが、それは言及しない。

先進的な都市交通として確固たる地位を築いた東京モノレールに次いで2番目に建設されたことを思えば「生まれた時が悪かった（決して間違っていないが、大風呂敷を広げるには時期尚早過ぎた）」と思えてならない。

時期的に大都市各地では路面電車を手っ取り早く路上から駆逐する機運が高まり、地下鉄へ軸足をシフトするなど、その方法を模索する中で1963年頃の神戸市では市電を高架化するという姫路市のそれと似た構想があったようだが実現に至らなかった。それから半世紀、今度は神戸でもLRTに目を向けられているというから「歴史は繰り返す」である。

休止から35年、2009年11月15日。一日限定で天の岩戸は開かれた。今も忘れない、肌寒いその朝は小生含め同病の輩が全国各地から、一目見ようと駆けつけた。埃まみれであるものの、閉鎖空間で眠っていたので程度は悪くない。



復元された手柄山ステーション

それは「手柄山」駅をモノレール展示施設に、検修線を水族館新館に改修する工事のキックオフだった。

2011年4月29日、手柄山交流ステーションとして生まれ変わったのだ。政治的背景はどうかあれ「負の遺産」をよくぞ公開にふみきったということで、押し寄せる歓びを隠せずにはいられなかった。

姫路の地の人でさえ知らない人は多く、「普通の家族連れ」のような方だと珍妙なまなざしを向けつつも、水族館の休憩所として利用しているようだ。これぐらいの緩さ加減が地方都市の憩いの場として似つかわしいと見える。

主役・モノレール200形の胸中に去来するものは何だろうか。1974年から時が止まったままの古城から永久に外へ出れることはない。しかし、往時と扱いは違っても子供たちの人気者になっている。これが本意でないにせよ、終の住処をみつけたということは幸せなことか。

「昭和」に特別な敬意を払うという意味でなく、至って当時の駅舎のままで自然体に保存されていることが施設の性格上、好ましい。

一方で、軌道桁の撤去は遅々として進まないが（それでも2016年時点、93本から半分にまで減った）、風景に溶け込んだ船場川とのコントラストは被写体として絶妙なので、重機の寄り付けない区間まで無理やり引きぬこうとせず、蹴上のインクラインや、旧余部鉄橋「空の駅」のようにモニュメントとして残したらよいと思うのは小生だけではないだろう。



黎明期の各地のモノレール

横道にそれだが、鉄道趣味の観点からすれば、廃止後も遺跡のように93本の軌道桁が残存して周囲の四季の景観によくなじみ、中間駅である「大將軍」駅（公団高尾アパートの吹き抜け部3階4階に軌道とホームが存在した）、西洋の古城を模した「手柄山」駅は、斜面の起伏を利用し実に興味深いものであった。

ところが、ファンの声は届かず公開を望む声が多い中でも、車両はその古城の中に幽閉されたままであった。市の黒歴史として封印したい過去と見て取れる。



35年の眠りからさめる歴史の瞬間



船場川とモノレール軌道の遺構

2017年現在でも、山陽新幹線とのオーバークロス部分こそ軌道跡は撤去されたが、車窓から確認できる遺構を見れば姫路市営モノレールに託した市民の夢への未練のような気がしてならない。



当時の「広報ひめじ」より

次回は「意外なる西宮の珍名所」をご紹介します。

### 見学レポート

## 『兵庫県庁と兵庫津界限』（その2）

1868年に兵庫津に開設された兵庫県庁の沿革に引き続いて、兵庫津の歴史、史跡についてレポートしていきます。

### 1 兵庫津歴史館 岡方倶楽部

（所在地：兵庫区本町2丁目3番33号）

兵庫津の歴史を知るには、また散策するにも先ずこの歴史館を見学することをお薦めします。

NHKの大河ドラマ「平清盛」で、現地に設置された「KOBEDe清盛歴史館」での展示品や兵庫津の史跡に関するものが展示・公開されています。開館は、土・日・祝日で、ガイドの方による展示品の説明があり、「兵庫津史跡ガイドツアー」も行われています。（要予約）

この歴史ある「岡方倶楽部」については、案内チラシ等から抜粋で紹介いたします。

### 兵庫津歴史館 岡方倶楽部

「岡方」とは、近世（江戸後期）に、尼崎藩の支配下から幕府領に移った後、大坂奉行所が兵庫津を管轄するために「三方」つまり「南濱」「北濱」「岡方」と三分割した行政区分の名称です。

岡方倶楽部は、海陸の要衝として繁栄を極めた江戸時代の「岡方惣会所」の跡地に兵庫商人の社交場として昭和2年に建設されました。

高松吉三郎設計による、鉄筋コンクリート造3階建て、大正時代に流行したセッション（分離派）様式に属する。外観は直線性と平面性を強調した単純な構成と幾何学的装飾を特色としています。

戦災、震災に耐えてきた『奇跡の建物』と呼ばれ、兵庫津経済の象徴にふさわしい名建築です。



次に歴史館における展示パネルを参照して、大輪田泊～神戸港の港湾整備の沿革を紹介します。

### ○ 摂播五泊と大輪田泊（飛鳥・奈良時代）

古代・神話的な時代は、浪速津（難波津）（なみはやのつ）から西に向かう船が最初に立ち寄る停泊地は、「ムコ（武庫、牟古等）の水門（みなと）」（現在の阪神西宮駅付近）が伝えられている。

8世紀頃、僧・行基（668年～749年）が「摂播五泊」を定めたとされている。河尻（尼崎）、大輪田（神戸）、魚住（明石）、韓（姫路）、檉生（たつの）の5泊で、港から港への航行が丁度1日に設定されていた。

造船、航海の技術の進歩で航行距離が伸び、最初の停泊地が徐々に西へ移っていき、8世紀半ば以降は大輪田泊が一回目の停泊地となった。



兵庫津歴史館・ボランティアガイドによる案内

### ○神戸港築港のさきがけ「経ヶ島」（平安時代）

大輪田泊は、南東からの風波による海難事故が絶えなかった。平清盛は日宋貿易の拠点として泊を整備するため、南東からの風波除けの人口島の

築造を行った。工事は難航し、海の神の怒りを鎮める一切経を書いた石を投げ入れ完成させた。

これにより築かれた島を「経ヶ島」といい、その後湊川の運ぶ土砂により陸地と繋がる。現在の島上町付近と推定される。

また、清盛の侍童「松王丸」が経石と共に自ら入水したという人身御供伝説があり、島上町の来迎寺（築島寺）に供養塔が安置されている。

#### ○ 重源による大輪田泊改修（鎌倉・南北朝時代）

平家滅亡後、僧・重源（1121年～1206年）により港の改修が行われた。重源は、平家により焼失した東大寺再建のため、造東大寺勸進職に就き、小野の荘園から米、周防から木材を運ぶため、大輪田泊を改修した。

鎌倉後期、港の管理費用のため関料（入港料）を取る関所を置き、社寺に任せるようになり、14世紀末には北関を東大寺、南関を興福寺の管理下に置いた。

応仁の乱から戦国時代には兵庫津は壊滅的な状態となり、織田信長により復活した。

#### ○ 兵庫津の繁栄と開港（江戸時代～）

江戸時代になると、兵庫津は瀬戸内海航路、西回り航路の重要港となる。菱垣廻船（日用品）、樽廻船（灘の酒）、北前船（日本海沿岸地域物資）等が出入りし、町方には廻船業者、仲買人の蔵屋敷が立ち並んだ。廻船問屋北風家による荷主、船頭への接待により兵庫への寄港を増加させたと伝えられている。また、北海まで航路拡大した高田屋嘉兵衛（1769年～1831年）は兵庫に本店を置き、松前やエトロフにも進出し大きな富をなした。

1855年に現在の神戸税関～第1突堤付近に網屋吉兵衛による「船たで場」の建設、海軍操練所の開設を経て、1868年1月1日（新暦）に神戸開港を迎え、港湾機能の中心は東へ移って行き、港は一体化されていく。

## 2 兵庫津界限

岡方倶楽部からスタートして運河沿いを南下しながら兵庫津の史跡、名跡を訪ねました。

史跡名称等に付した番号を地図にプロットしましたので参照ください。

#### ① 金光寺（案内板より）：西仲町2-12

開基 隆善法師 承安3年（1173年）

本尊 薬師如来

経ヶ島築造時に、清盛の枕元に童子が現れ「兵庫の海中に霊仏あり」と探すよう夢告した。早速、網を下ろしたところ海中より黄金薬師尊が出現したことから金光寺という。

この出現した黄金の本尊は薬師如来の胎内に納められていると伝えられている。

#### ② 天台宗能福護国密寺（寺院延喜より）

：北逆瀬川町1-39

開基 傳教大師最澄上人 延暦24年（805年）

本尊 薬師如来立像（傳教大師作）

最澄が支那留学の帰途、和田岬に上陸、庶民が大師を歓待し堂を建立して教化を請う。大師、自作の薬師如来像を堂に安置し、庶民の幸福を祈願して自ら能福寺と称した。

大師我が国最初の教化霊場である。

#### ○ 兵庫大佛尊像（能福寺境内）

身丈 11米、総高 18米、重さ 60t

明治初年、兵庫の豪商南條莊兵衛の発願により、兵庫の庶民、佛教会全宗派を挙げ巨大な盧舎那仏を建立。大戦で金属回収令により出征された。

平成3年5月市民の強い要望により、市内有力企業の協賛を得て再建された。

#### ○ 平清盛公墓所・平相國廟

福原京遷都計画において、能福寺は平家一門の祈願寺に定められたという縁があり、清盛が京都で亡くなった後、能福寺の住職円実法眼が遺骨を持ち帰り寺領内に葬ったという説がある。



兵庫大仏、手前左が清盛公墓所

#### ③ 札場の辻跡（西国街道）：本町2丁目

都と大宰府を結ぶ古代の山陽道は大路と呼ばれ、神戸では東北から西南に直線状に進んでいた。律令制の変遷の中で、やがてこの道は播磨道とか山崎道と呼ばれ、鎌倉時代に兵庫津が発展し始めるとV字形に兵庫に立ち入るようになった。

近世には、ほぼこの道が西国街道（東向きには京街道）と呼ばれた。兵庫津への出入り口が、東は「湊口の惣門」西が「柳原の惣門」、V字形の底の曲がり角が「札場の辻」である。

この辻は兵庫の中心地に当たり、幕府の布達等を掲示する大きな高札場があったことから俗に「辻の札」、「札場の辻」と呼ばれた。



札幌の辻跡・西国街道V字曲がり角

④ 来迎寺：島上町2丁目1-3

別名築島寺といい、先に「経ヶ島」の項で記した「松王丸」供養のために建立されたと伝えられている。

境内には「松王丸」の供養塔に並んで、清盛の愛妾「妓王、妓女」の供養塔も祀られている。

⑤ 古代大輪田泊の石椋<sup>いわくら</sup>：島上町2丁目1

石椋とは石を積上げた防波堤等の港湾施設の基礎。昭和27年新川運河浚渫工事により重量4トンの巨石20数個が発見されたうちの1個が新川運河沿いに設置されている。これは、古代大輪田泊の石椋の石材と推定されている。



⑥ キャナルプロムナード・初代兵庫県庁碑

○新川運河・兵庫運河

兵庫津の和田岬沖は潮の流れが速く風波も強いので船舶の遭難事故が多発する場所で、さらに砂嘴状の岬を大廻ししなければならなかった。

この不便さを解消するため運河が建設された。

- ・新川運河 明治8年(1875年)完成
- ・兵庫運河 明治33年(1900年)完成

全長3kmは日本最大の運河で、新川運河で切り離された土地が「中の島」、兵庫運河の浚渫土砂で埋立てた人口島が「荊藻島」である。



○キャナルプロムナード

新川運河の大輪田橋北側約300mに遊歩道「キャナルプロムナード」が整備されている。

兵庫城跡(初代兵庫県庁)碑もこの一角にある。

⑦ 清盛塚石造十三重塔(県指定文化財)

：切土町1-3

高さ 8.5m、初層一辺145cm

古くから清盛塚と呼ばれ、北条貞時の建立とも伝えられる。元は南西11mにあり、清盛の墳墓と言われていたが、道路整備の調査結果墳墓でないことが判明し移設された。

隣接して柳原義達作の平清盛像が設置されている。



⑧ 大輪田橋：中の島2



兵庫運河と新川運河の境に大正3年に築造された石造り3連アーチの橋。

神戸大空襲で一帯は壊滅状態であったが、この橋は残った。また、阪神淡路大震災でも親柱4本中3本が崩落の被害を受けるが、本体は残った。親柱には、阪神淡路大震災のあった1月の星座をかたどった発光ダイオードが埋め込まれ夜は赤く光る。

また、親柱4本ともブロンズ製のカタツムリが裝飾されているが、カタツムリはきれいな空気と水のある場所にしか生息しないことから、この場所がそうであることの願いを込めて取り付けられた。



橋の東詰には空襲による被災者の慰霊碑が祭られている。



清盛塚の案内地図参照



高田屋嘉兵衛本店跡の明治2年（1869年）  
兵庫津絵図参照

次回以降は、兵庫津と所縁の深い高田屋嘉兵衛と西国街道についてご紹介したいと思います。

- ⑨ 高田屋嘉兵衛本店跡
  - ⑩ 東の「湊口の総門」跡
  - ⑪ 西の「柳原の総門」跡
- （地図上に番号を付しています。）

## 花だより （1）

兵庫県まちづくり旺美会 志波 秀明氏

### ○ 桔梗

当会の友好団体「兵庫県まちづくり旺美会」の志波秀明氏から花だよりをいただきました。



志波氏 投稿写真

写真は「遍照寺」（美方郡香美町香住区小原616）の庭園の「桔梗」です。このお寺は但馬七花寺霊場の一つで、別名「桔梗寺」と称されています。境内におよそ1,000株の桔梗が植えられており、開花時期は6月下旬から9月彼岸頃までとなります。桔梗はご存知のように秋の七草ですが、開花期からは夏の花のようです。

紫に凛とした立ち姿は清楚で上品で、花言葉そのものといえます。

桔梗が主役の庭は珍しいように思いますが、調べると京都に数箇寺あり、その一つ「蘆山寺」は、紫式部の邸宅があった場所のようです。開花時期はこれからで、長く鑑賞できそうです。

「遍照寺」へ国道9号線から村岡香住線で向かいますと、途中に「道の駅あゆの里矢田川」があり、これからは矢田川の天然あゆが味わえます。以前の仕事ではよくここを通りましたが、香住へ急ぐあまり、遍照寺さんには失礼なことながら気が付きませんでした。これを機に伺いたいですね。

志波さんは、花がお好きでよく名所を訪れ撮影されているようなので、これからも季節ごとに珍しいものをご紹介いただければと思います。



遍照寺ホームページより参照（使用承諾）

遍照寺HP

<http://www.henjyoji.org/about/>

但馬七花寺霊場

<http://7kaji.jp/modules/xpwiki/>

## 花だより (2)

洲本市 武本 浩己氏

洲本のまち歩き以来、淡路の花だよりをお送りいただいている洲本市在住の「まちづくりガーデナー」武本 浩己氏から『源流の郷 あわじ花山水』のアジサイの花だよりです。

手元にある「あわじ花へんろ」(淡路島くにうみ協会編・平成24年版)より紹介します。

“千草川の源流を遡ると人里離れた奥山に桃源郷を思わせるような地が現れる。小川が流れ水車が回り、せせらぎにはメダカが泳ぐ昔なつかしい原風景。

春には一面の山桜と桃の花。初夏には色とりどりアジサイ。秋の紅葉とコスモスなどダム湖周辺のロケーションとも合まって素晴らしい景観を楽しむことができる“

HPを見ると春の桜シーズンはダム湖からの瀑布とマッチして素晴らしい景観です。

花の鑑賞のほかシイタケ狩りとバーベキューも楽しめるようです。

<http://awajihanasansui.com/>



水車のある風景↑  
↓田んぼの畔一面のアジサイ



そして、淡路夢舞台の「奇跡の星の植物館」では、日本での開花が珍しいといわれるヒスイカズラの開花の便りもいただきました。

フィリピン原産で絶滅危惧種に指定されている希少品種のようです。



奇跡の星の植物館・ヒスイカズラ

### お知らせ

#### ◎ 行事案内

#### ○ 平成29年6月(第457回)月例会

日時 平成29年6月15日(木)

12時から14時

会場 西村屋和味旬彩

テーマ①「平成29年度兵庫県の住宅・建築関係主要施策」

講師：兵庫県住宅建築局長  
奥原 崇氏

テーマ②「オールドニュータウン問題への対応モデル事業明舞団地の取組」

講師：兵庫県住宅供給公社  
住宅企画部明舞団地再生課  
主査 神吉 竜一氏

ご案内中です。ご出席をよろしくお願ひします。

#### ○第154回研修交流会(建築会ゴルフコンペ)

日時 6月22日(木) 集合8時30分

会場 城山ゴルフ倶楽部

スタート 9:03、9:10、9:17

9:24

会費 13,000円程度

(プレーフィ、キャディフィ、昼食、参加料込み)

ご案内中です。豪華賞品用意していますので奮ってご参加ください。



○ 平成29年7月（第458回）月例会

日時 平成29年7月12日（水）

12時15分から14時15分

会場 神戸三宮東急REIホテル

テーマ 健康マイプラン講座—

「有機農業の可能性

—食べ物の価値」

講師 保田 茂氏

兵庫県農漁村社会研究所代表

兵庫県食の安心安全と食育審議会会長

神戸大学名誉教授

ご案内中です。曜日、時間が変則となっていますのでご注意ください。ご出席よろしくお願ひします。

◎ 花だより（3）「花菖蒲」

古い写真ばかりなので、全号の約束もあるため、今年は花菖蒲が見事な播州山崎花菖蒲園へ行こうと、開花時期確認のためHPを見ると、なんと今年は開園しないとの表示。なんでも維持費が大変らしく、新たなスポンサーを探しているとか。写真の下の方は、7年程前のものです。今更ですがその様子を忍んでください。再開を期待しています。

上2枚は、三田・永沢寺ですが、ここは勿論健在です。



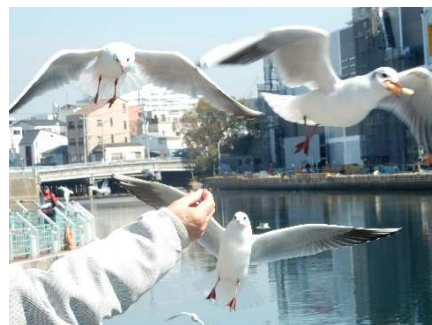
↑三田・永沢寺  
↓播州山崎花菖蒲園



◎ キャナルプロムナードとカモメ

兵庫津を最初に訪れたのは3月の初旬でしたが、6頁の写真にもありますようにカモメが人を恐れることなく群れていました。そしてこの写真のようにエサのパンを貰いにもやってくるのです。そういえば船のデッキでのこんな映像をよく見ますね。ハトはこのようなエサの取り方はしない、というより出来ないのではないかと思われます。翼の構造の差があつて滑空に不向きなんでしょうか。それとハトと違ってカモメの糞は見当たりませんでした。

環境が整備されていく中で水辺とカモメよく似合います。観光にも一役となるでしょうが、カモメは冬の鳥というのが少々残念です。



◎ 事務局だより

○ 総会及び記念事業の御礼

総会では本当に多くの方に参加いただき心より感謝いたします。議案の平成28年度決算は、70周年事業が中心でしたが、事業報告を整理する中で、まざまざとその推進上のご協力が浮かんでまいりました。

記念講演会は県文化協会による衰講師の紹介と後押しにより、月例会規模から公館を活用した講演会へと昇格し、県都市政策課、施工会社の圧倒的支援で大盛況の開催となりました。

記念誌も1年越しの事業でしたが、県知事、神戸市長、各幹部そして県建設業協会会長始め当会所縁の関係者からお祝いの寄稿をいただくとともに、会員からも本当に多くの方から寄せられました。予定頁を大幅に超過しましたが、何とか算枠に収めることができました。

記念式典、祝賀会にあつても参加者数、行事内容ともに豪華に華麗に執り行えました。

もちろん、このように展開できましたのも、経費面のご協力があつてこそその70周年記念事業でした。改めまして厚く御礼申し上げます。

事務局 : 谷 純夫、石井滝実子

電話 : 078-996-2851

FAX : 078-996-2852

Email : [archit-k@axel.ocn.ne.jp](mailto:archit-k@axel.ocn.ne.jp)

## ひょうご出会いサポートセンターをご活用ください！

兵庫県では、少子高齢化が進むなか、“どこよりも夢叶う兵庫”をめざし、未来を拓く地域創生に取り組んでいます。その一つとして、若者が希望に応じて結婚できるよう、企業や団体等の協力を得て、結婚を希望される独身男女に出会いの場を提供しています。

### あいサポ会員

イベント参加で気軽に婚活を始めたい方は、あいサポ会員にご登録ください(登録無料)。

あいサポ応援団(協賛団体)が開催する出会いイベントの情報を発信します(201 団体)。

☆県内に本社、事業所等があり、独身社員が 5 名以上在籍する会社、団体等は、あいサポ会員(団体)にご登録いただけます(170 団体)。



### はばタン会員

1対1のお見合いでじっくり考えたい方は、はばタン会員にご登録ください(登録手数料 5 千円/年、20 歳代は 3 千円/年)。

県内 10 箇所と東京に設置した「出会いサポートセンター」で、約 5 千人の会員(男性約 45%、女性約 55%)の中から気に入ったお相手を探し、お見合いや交際をスタートすることができます。お見合いは各地の出会いサポートセンターで行います。

県の出会い支援事業を通じて、今までに 1,301 組の成婚カップルが生まれました。

登録資格は 20 歳以上の独身の方で、インターネットに接続できる環境があり、E-mail アドレスをご登録いただける方。両方、同時に登録することもできます。

ぜひ「あいサポ会員」「はばタン会員」に登録して、この制度をご活用ください。

(団体数等は、平成 29 年 3 月末現在)

＜お問い合わせ＞ひょうご出会いサポートセンター(兵庫県青少年本部内)  
〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3 兵庫県民会館 3 階  
TEL 078-891-7415 FAX 078-381-6829  
URL <https://www.msc-hyogo.jp/>



## 広報コーナー：兵庫県住宅再建共済制度

火災保険・共済に加入されている皆様へ

# 熊本地震！他人事ではありません

- ★明日かもしれない大地震・・・マンション、耐震住宅が壊れることも地震や津波の被災では、地震保険・共済でないと保険金等が出ない
- ★地震保険・共済は、火災保険金額の50～30%しか加入できない  
だから足りない ⇒ フェニックス共済と併せて加入を
- ★フェニックス共済600万円と、例えば地震保険1000万円の合計掛金は、  
月当たり、戸建て1,695円、マンション1,095円  
フ420円+地1,275円                      フ420円+地675円   掛ア：フェニックス共済   地：地震保険
- ★共済は、助け合いの制度、自分に被害がなくても、被災者の支援に

自然災害からの住宅再建・**フェニックス共済**  
唯一 兵庫県 が実施する安心の共済制度です

### 地震！豪雨！こんなに

- ★南海トラフ地震の発生確率30年以内に7割  
県の試算、県内各地で全半壊21.5万棟  
山崎断層、上町断層など危険な断層多数
- ★平成16年以降、県内の水害・土砂災害2万棟

### あなたの家は大丈夫？

- ★阪神・淡路に耐えた家、実は危ない？
- ★新耐震基準は倒壊しないことが目標  
新築や基準クリアでも壊れることも
- ★巨大化する台風・増えるゲリラ豪雨

### ほんとになんとかかりますか？

- ★自分はたぶん大丈夫 → 地震も洪水も、ほとんどの被災者はそう思っていました
- ★ローンがあって家が壊れたら → ローンのある方、建替にローンが必要な方は備えを
- ★生きてさえいればなんとかなる → 備えの有無で、その後の生活に大きな差が
- ★国がなんとかしてくれる → 南海トラフ地震は被害広範囲、復興に時間がかかるかも
- ★マンションの再建は難しい → 再建が難しいときは、別のマンションを買う選択肢も
- ★高齢だし古家だし壊れたら仕方ない → 高齢ほど近所づきあいが大切、現地再建が重要
- ★家が壊れたら自分も助からない → 阪神・淡路の時、全壊建物の約99%の人が助かりました

## 大地震も 備えれば、被害はもっと小さく

#### 【事前にぜひ】

- ①家具、家電の固定
- ②避難場所、連絡先の確認
- ③避難時必要品を身の回りに
- ④1週間分の食料備蓄
- ⑤**フェニックス共済**に加入
- ⑥耐震診断、住宅補強

#### 【これもあわせて】

- ①風呂水のくみ置き
- ②ガラスの飛散防止
- ③防災知識の向上